



2017年7月14日

報道関係者各位

慶應義塾大学

KEIO SDM "SPORTS X" Conference 2017 開催(7/27-28)

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應 SDM）は、2017年7月27日（木）～28日（金）の2日間、公開カンファレンス「KEIO SDM "SPORTS X" Conference 2017」を日吉キャンパスにて開催します。

開催2年目となる今年は「Starting with Why?」をテーマに、講演やパネルディスカッションなどを実施します。日本のスポーツ産業の活性化を目指し、多様な視点から問題解決のためのアプローチ、スポーツの未来への提言などを行います。

本カンファレンスは初年度より「SPORTS×○○」をコンセプトとして構成しており、今年もスポーツ×マーケティング、スポーツ×エコノミクス、スポーツ×データ・AI・IoT、スポーツ×地域など、日本と海外のスポーツ事情の違いも踏まえ、2日間で合計35を超えるセッションを用意しました。ご取材ならびにイベント欄等への掲載のほど、よろしくお願いいたします。

■開催概要

開催日時：2017年7月27日(木)～28日(金) 9:00～18:00

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館2階 藤原洋記念ホール 他

主催：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

後援：経済産業省、スポーツ庁

参加費：一般 2日通し券8,000円、1日券5,000円 / 学生 2日通し券のみ3,000円

募集者数：600名程度

詳細・チケット販売：SPORTS X ウェブサイト <http://sportsx.info>

*ご取材をご希望の方は、**事前登録の上で、入場無料**となります。

info@sportsx.info までお申し込みください。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、運動部、文化部等に送信しております。

・本カンファレンス内容のお問い合わせ先

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 日吉学生部 大学院担当

TEL：045-564-2518 FAX：045-562-3502 Email：sdm@info.keio.ac.jp

URL：<http://www.sdm.keio.ac.jp>

*折り返し担当教員より返信しますので、なるべくメールでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

・本発表資料の配信元

慶應義塾広報室（山崎）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>

【別紙：セッションスケジュール】

■ 見どころ

- ・ 7月27日(木) 9:30～ スポーツ庁 参事官（民間スポーツ担当） 由良 英雄 氏
 <Keynote Speech> スポーツの成長産業化 ～スポーツ未来開拓プラン～
- ・ 7月27日(木) 10:00～ デビッド・エイブラムス准教授（ニューヨーク大学大学院）
 <講演テーマ> What Drives Value in the Global Business of Sports
 ～グローバルスポーツビジネスに価値を生むものは何か？～ ※同時通訳あり
- ・ 7月27日(木) 11:30～ アンドリュー・ジンバリスト教授（スミスカレッジ）
 <講演テーマ> The Risky Economics of Hosting the Olympics ～五輪経済効果は本物か？～
 ※同時通訳あり

その他の講演タイトル・登壇者につきましては、ウェブサイト (<http://sportsx.info>) をご参照ください。

■ スケジュール

<DAY 1 : 7月27日 (木) >

時間	Main Room (藤原ホール)	多目的教室1	多目的教室2	クイーン・アリスイベントホール
8:30-	door open			
9:00-9:15	「KEIO SDM SPORTS X ～なぜ慶應SDM x スポーツか～」			
9:15-9:45	Keynote Speech スポーツの成長産業化 ～スポーツ未来開拓プラン～			
10:00-11:00	"What Drives Value in the Global Business of Sports" ～グローバルスポーツビジネスに価値を生むものは何か？～ (同時通訳あり)	「欧州トップクラブのメディカルサポート体制」	「スポーツ x AIの可能性」	「国際的なスポーツマネジメント人材の育成について ～日本と世界のスポーツ大学院との比較から～」
11:30-12:30	"The Risky Economics of Hosting the Olympics." ～五輪経済効果は本物か？～ (同時通訳あり)	「2020、その先のインクルーシブ社会実現に向けて 日本財団パラリンピックサポートセンターの取組」	「GPSからMulti-GNSSへ：高精度衛星測位のスポーツ活用」	「ラグビーウェアの変遷とテクノロジー～2019年ワールドカップに向けて～」
12:30-13:00	お昼休み			
13:00-14:00	「世界で戦える次世代アスリートを育成するために ～ラグビー以外を積極活用するラグビーの取り組み～」	「日本のスポーツはあぶない ～スポーツ現場の安全性改善への提言」	「ブラインドサッカーの社会的価値と事業化」	「スポーツ産業化を通じた街づくりと人づくり」
14:30-15:30	「Athlete x ANA = 元気になるヒコキ」	「日本のスポーツビジネス戦略を考える ～スポーツの成長産業化の力を握るメジャースポーツの事業戦略を考える～」	「ジュニアアスリートの身体をつくる栄養サポート」	「スポーツのちから 一地域をかえるソーシャルイノベーションの実践」
16:00-17:00	「スタジアム・アリーナの未来」	「横浜スポーツタウン構想について」	「スポーツデータ活用による地域創生・人材育成 ～ラグビーW杯を目指した横浜市でのスポーツデータ体験教室の取り組み～」	「育成年代で何が起きているのか？」
17:30-18:30	「Bリーグの事業戦略」	「Human Centric Scienceに基づくスポーツ用品設計」	「スポーツ・インテリジェンス ～ハイパフォーマンススポーツにおける情報戦略～」	

※19:00～21:00 登壇者の方々との交流会を、協生館2階のクイーンアリスにて開催予定。

<DAY2 : 7月28日(金)>

時間	Main Room (藤原ホール)	多目的教室1	多目的教室2
9:00-	door open		
9:30-10:30	「海外に出よう！」	「スポーツ現場を支えるアスレチックトレーナーの役割」	「スポーツの価値を可視化する-スポーツの街づくりとデザイン」
11:00-12:00	「スポーツ x 地方創生 ～地方における世界的スポーツイベント開催事例から、ソフト面での"スポーツまちづくり"を考える～」	「スタジアム・アリーナの可能性 ～「超人スポーツ」と「スポーツ環境の拡張」～」	「メジャーリーグにおける最先端の野球分析 ～スタットキャストの活かし方～」
12:00-13:00	お昼休み		
13:00-14:00	「福岡ソフトバンクホークスの強化戦略」	(調整中)	「スポーツx ボランティア ～各大会での活動から見る2019/2020年の向こう側～」
14:30-15:30	「スタジアムアリーナ改革とスポーツファイナンス」	「日本の企業スポーツの未来」	「若手が考えるスポーツ競技団体のポスト2020」 ～競技団体の垣根を超えて取り組む未来～」
16:00-17:00	「JOCの人材育成事業」	「eスポーツってなんだ! ? ～日本のeスポーツ ビジネスのトップランナーと共に～」	「選手から見たNCAA、アメリカスポーツ界」
17:15-18:00	closing 「第二回KEIO SDM SPORTS X Conferenceを終えて」		

※18:30～20:30 登壇者・参加者を交えての懇親会を、協生館1階のHUBにて開催予定。